

今号の内容	
・協議会の動き	1
・各活動グループの動き	1
・地域のトピックス	2
・<特集> 佐野一彦の「伊深日記」展を ふり返る	3
・生き生き伊深人(渡辺 和典さん)	4

ホームページアドレス: <http://ibukamachi.com>

(左: 満開の梅 上切で)

## ■ 協議会の動き

### 自治会館賃貸借契約終了に伴う対応などについての協議を進めています

1月、2月の定例会では、自治会館賃貸借契約終了に伴う対応、小学校のあいさつ運動への協力などについて協議したほか、保育園統合に伴う対応などについて報告を受けました。

#### ■ 自治会館賃貸借契約終了に伴う対応について

- 親子文庫の蔵書の整理を進め、残す本は当面自治会館にて保管してもらう方向で進めています。
- あじさい会が行っている給食サービスの炊事を他所で行ったが、道具類の運搬に手間がかかったと報告がありました。

#### ■ 新年度に向けた組織体制見直しについて

- 防災訓練のあり方を見直していく必要もあり、災害協力隊伊深支部をまち協委員に加える方向で進めることとなりました。

#### ■ 伊深への転入者を対象とした座談会の開催について

- 最近伊深へ転入された方を対象とした座談会を3月1日(土)に計画しており、その持ち方について協議しました。

※ 小学校が進めているあいさつうさぎ運動を支援する目的で看板を設置する案が提案されましたが、費用対効果の点で見送りとなりました。

- 保育園の統合に伴う行事対応などについて
- 伊深保育園としては閉園ということになるため、卒園式のあと、「閉園式」を保護者会主催で計画していることが報告されました。
- 新園の園歌を公募する予定であったが、伊深・三和両園に縁のある人に依頼する方向で進めていることも報告されました。

#### 民生児童委員・主任児童委員の代表として亀井氏がまち協委員に就任

昨年12月に民生児童委員・主任児童委員が任期満了で交代となり、まち協委員にはその代表として亀井洋志(ひろゆき)氏(野地原)が就任されました。よろしくお祈りします。

## ■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。(代表者の敬称略)

#### 子どもの居場所づくりグループ 代表: 佐野 綾目

- 引き続きのびのびと遊びながら活動しています。

#### 伊深の里の標柱づくりグループ 代表: 福田美津枝

- 3月上旬に標柱設置作業を行う予定です。

#### 保育園畑作体験支援グループ 代表: 大矢 伸司

- 2月下旬にいちご畑のマルチがけを行い、肥培管理を行っています。

#### 絵葉書づくりグループ 代表: 福田美津枝

- 視察研修や伊深日記展で販売でき、残部が僅少となったため、新シリーズの作成へ向け、準備を進めています。

#### 環境美化グループ 代表: 井上美恵子

○短大下の花壇を毎月第1日曜日に手入れしています。

※その他の活動グループは特にありませんでした。

## ■ 地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

### 1月16日、統合後の伊深保育園の名称が「ほくぶ保育園」となることが正式に決まりました

先に開かれた選考会で決定していた統合後の新園の名称が、1月16日の市議会臨時会で正式に「ほくぶ保育園」となることが決まりました。新園は定員45名、対象年齢は「原則2歳以上」となっており、要望のあったトイレの水洗化など施設の改修も済み、新入園児を迎えるための準備が進んでいます。また、3月27日の卒園式が伊深保育園として最後の卒園式となるため、閉園に伴う記念行事の準備も進んでいます。



### 1月31日、伊深小「おやじの会」が開かれ、おやじたちと先生方の懇親が深められました

昨年につき、第2回目の伊深小「おやじの会」が開かれました。今年はPTA会長差し入れのシシ肉を使ったジビエ料理も含め、校長先生が用意された数々のメニューを共同で手作りし、そのあと舌鼓みを打ちながら懇親を深めました。



### 1月下旬までに、今年度の地籍調査現地確認が完了しました

2年目となる地積調査事業の現地確認が、今年度は山間部が「追洞」「勝負池」「表平」、平地が「西田」「上町」「中町」の合わせて6つの字で実施されました。追洞では公図の精度が低く、境界決めに難儀した区域もありましたが、地権者のご協力のもと線引きにこぎつけました。また初めて宅地区域でも実施され、ほぼ予定どおりの日程で完了することができました。地権者の皆さまにはご協力ありがとうございました。



### 2月22日、市のプロモーション映像作成に小学校関係者・住民が参加しました

「恋チュン」のYoutubeへの投稿が話題になるなど、柔らかい映像を使ったPR活動が活発化するなか、市でもプロモーション映像を作成することになり、2月22日には伊深で撮影が行われました。撮影は自治会館前、正眼寺参道下、天王用水の3か所で行われ、前2か所では小学校児童や父兄、まち協委員を含む住民が元気にあいさつし、大きく手を振るようすが撮影されました。また、天王用水では野菜を洗う主婦の横をランナーが通りすぎる映像が撮影されました。映像の完成予定時期は未定ですが、担当の市政情報課では「できるだけ早く仕上げて公開したい」と話していました。



伊深ゆかりの哲学者・民俗学者佐野一彦氏が遺された「伊深日記」を紹介する企画展が文化の森で昨年12月7日から2月2日までの約3か月にわたって開催され、市の内外から訪れた多くの見学者に感銘を与えました。

ここでは、氏が見たり、聞いたり、感じたりしたつつましくも人間らしい伊深の村人の暮らしを偲びながら企画展をふり返ります。

### 文化の森での展示

(2013. 12. 7～2014. 2. 2 文化の森企画展示室)



展示されたのは伊深日記73点、「美濃伊深村の歴史と民俗」などの著作物のほか、佐野家に残る生活道具など。期間中の来場者はのべ約1400人、地区別には市内40%、県内35%、県外25%で満足度はやや満足・満足

を合わせて90%にのぼりました。来場者からは「どの記録もていねいで几帳面」「懐かしかった」「昔の暮らしぶりが良く分かり貴重な記録だ」といった感想が寄せられました。

### 「伊深日記」を読む

(2013. 12. 7ほか 伊深交流センター)



戦中・戦後の食事の様子や伊深の地図・史跡などを中心に読み解きました。日記にでてくる手作りのお菓子も再現され、「とても面白く、昔のことがよくわかりました」などの感想が寄せられました。

### ある日の伊深のお膳Ⅱ

(1. 11 生活体験館)



再現されたのはつか正月の祝い膳。「サツマイモ入レカラコメシ」「大歳のゴツオ(おひら)」「ザウニ(雑煮)」などが高膳で供されました。

### 「伊深日記」の朗読とおはなし

(1. 11 生活体験館)



次女綾目さんによる朗読とおはなし。「日々の暮らしに感謝して過ごすことを心がけたい」という方もお

られました。

### 「伊深日記」をたどる

(1. 25 伊深町内)



正眼寺、諏訪神社、寺洞などをめぐり、「普段気付かないことに気づかされた」「地元でも心してみた

い」などの意見がありました。

### ●この企画展を担当した渡辺裕子学芸員の話

「伊深日記」は現にそこに住み、楽しみながら、冷静かつ客観的に記されているという点で、単なる個人の日記を超えた貴重な記録です。初めて文化の森を訪れた人が30%もあったことは、こうした暮らしぶりが市内外の多くの人に紹介できたことでもあり成功でした。自然や人とともに暮らす豊かさをかみしめるよい機会になったのではと思います。

第6回

渡辺 和典さん  
カズノリ

上本郷/昭和 25 年  
生まれ/63 歳



**Q** 最近伊深へ帰って来られたんですが、それまではどちらに？

3年前に定年で帰ってきましたが、18歳からは大学が静岡、院が神戸、高校の教員免許は兵庫で取り、愛知で非常勤講師をした後、最終的に就職したのは京都でした。物理が専門でしたが、当時岐阜では物理の採用枠がなかったので、好きな京都ならと思って受験したんです。

**Q** 伊深へ帰ることは決めておられたんですか？

長男ですから、定年になったら帰ることにしていました。農業もやりたいと思っていましたし。ただ、京都にも家があり、今のところこちらへ単身赴任しているみたいな状態ですね。

**Q** 農業はどの程度に？

昨年、まず里芋農家の募集を知り応募。その後、JAの「就農塾」のなすコースに参加したところ『実習しながら栽培の方が理解が深まる』と言われて、なす100本を植え、里芋は8aで栽培し出荷しました。

**Q** 結果はどうでしたか？

販売農家の規模としては小さいんですが、草取り、防除、収穫とな

かなか大変でした。一人ですしね。でも自分なりに考えてやったことが結果として反映されますから、やりがいがありますね。「物理」の世界とはだいぶ違いますけどね。

**Q** 一人では技術の習得も大変なのでは？

就農塾の参加者や出荷組合の仲間とのつながりがありますから、情報交換には不自由していません。なすで一番いいのを出しておられるのは90代の方なので、今年は少し規模を拡大し工夫もして先輩に一步でも近づきたいと思っていますところ。

**Q** 農業以外で取り組んでおられることは？

40代にランニングを始め、これまでマラソンレースにも出ていました。それと山登りも大学時代の仲間と楽しんでいます。アルプスにも登りますよ。最近では必要があって料理にも取り組んでいます。同じように作ってもそのつど味が違って面白いですね。そのうちパンも焼いてみたいと思っています。



◀昨年マラソンだけがをしたものの、今年はまた走りたいと調整中の渡辺さん。連絡所へも自転車を漕いできてくださいました。

伊深の地図に「へそ」ができました。  
——大平山の山名表示が実現しました!!

かねて、まち協から市を通じて要望していた伊深最高地点「大平山」の山名表示が国（国土地理院）で承認され、公式地図（地理院地図）に反映されました。ご協力ありがとうございました。



ホームページへのアクセスが  
10,000件を超えました

協議会公式ホームページへのアクセス数が2月下旬で10,000件を超えました。開設以来約18か月で大台を超えました。今後も内容の充実に努めて参りますので、ご提案、お気づきの点があればご連絡ください。

